



中学生の皆さん。
宮城県の観光を一緒に盛り上げましょう

宮城県松島高等学校

笑顔咲くたび
伊達な旅

仙台・宮城

Sendai & Miyagi, where smiles blossom

松島高校 観光科 リーフレット

【1 観光科とは？】

観光科は、観光資源を学習素材とし、社会で即戦力として活躍し地域に貢献できる人材の育成を目指します。そして、「自分に何が出来るか?」、「何をするのか?」、「そのためには、何を学ぶのか?」を考えて学習し、お客様との接客対応からコミュニケーション能力を高め「おもてなしの心」を育み、学習した歴史や名所・史跡や地域の資源を活用したツアー等の企画を考え実践します。観光科卒業後の生徒の進路は、大学等への進学や地元企業への就職を達成しています。

下記のサイクルによるカリキュラムデザインが観光科の柱となっています。

学習 → 体験 → 実習 → 学習(スキルアップ) → リトライ



【2 学校設定科目】(令和5年度入学生カリキュラム(予定))

観光科では、普通科目に加えて下記にある独自の専門科目を学習します。(カッコ内は単位数)
観光科で学ぶ内容は歴史・地理・経済・法律・ビジネスマナー・ICT等多くの範囲にわたります。また、外部講師を招いての講話や生徒自身が考えた企画の発表等も実施します。

第1学年 観光基礎(3 ※実習の増加単位を含む)、地元学(1)
第2学年 観光地理(2)、観光ビジネス(2)、
旅行業務(4 ※長期休業中における実習の増加単位を含む)
第3学年 観光実践(3)、課題研究(3)



【3 実習】 観光科では、学年毎に観光に関する実習に取り組みます。

第1学年 販売実習(約2週間)・観光ガイド演習・観光ガイド実習、田植え・稲刈り体験
YOSAKOI 運営ボランティア、海の盆運営補助、磯崎漁港牡蠣祭り運営補助
第2学年 ホテル実習(約3週間)・観光ガイド実習、YOSAKOI 運営ボランティア、
国内・国外研修旅行(宮城PR活動)
第3学年 松高おもてなしツアー、観光ガイド実習
その他、地元新聞店発行のミニコミ誌記事・編集等



【4 松島高校の取り組み紹介①】

松島高校観光科の取り組みが河北新報社様に掲載されました。

(出典 河北新報社 2022年3月16日(水) 朝刊)



松島高校観光科公式チャンネルQRコード

地域活性化へ高校生の力



松島の観光PR動画を制作する生徒たち

PR動画「松島へGO！」

松島・観光科 曲に乗せ名所や特産

松島町の松島高観光科の3年生が日本三景松島のPR動画を制作し、動画投稿サイト「YouTube」の観光科チャンネルで公開している。生徒たちは1年生の時から松島海岸地区の観光ボランティアなどに参加し、動画制作の経験が豊富だった。動画制作は3年間の活動の集大成と位置づけ、新型コロナウイルス感染症拡大で観光客入り込み数が減少する地域を活性化しようと企画した。

動画は授業の一環で制作した。タイトルは「しゅっぱつぽー 松島へGOー！」で、長さは約5分20秒。女子生徒2人が松島湾をバックに登場し、観光名所や特産品を歌とダンスで紹介する。合間に過去のガイド活動で撮った写真や動画が差し込まれており、歌詞に合わせて画面がテンポよく切り替わる。終盤には災害時に松島海岸地区から高台へと避難する経路や、松島高の紹介も盛り込んだ。

制作には14人が参加し、昨年12月に作業に取り掛かったという。歌詞や振り付けは小さな字でも目にも伝わるように考えたほか、歌唱や動画撮影、映像の編集なども手掛けた。動画は福浦橋の入り口にあるカフェのモニターでも見られる。

生徒たちは1年生の時から、修学旅行で町を訪れた小中学生や観光客向けのガイドをした。コロナ下で実際にガイドする回数減ったが、自宅で旅行気分を味わえるようにオンラインツアーを実施するなど、工夫して実習に取り組んできた。

動画編集を担当した川和愛さん18は「松島はコロナ下で厳しい状況だが、動画の曲調を明るくするなどいろいろな世代に見てもらえるように工夫した。地域の協力で観光について学べたのは大変うれしかった」と話した。

【4 松島高校の取り組み紹介②】

松島高校観光科の取り組みが河北新報社様に掲載されました。

(出典 河北新報社2022年6月2日(木) 朝刊)

ガイド中に津波、安全誘導

松島高 観光科生徒が避難訓練



松島町の松島高観光科の3年生が5月30日、同町松島海岸地区で、観光ボランティアガイド中の津波発生を想定し、避難・誘導訓練に取り組んだ。約70人の生徒がガイド・観光客に分かれ、県が公表した新たな津波浸水想定に基つき、近々の高台へ2次避難する手順を確認した。

4、6人のグループが観光スポットを巡っている最中に津波が発生し、津波警報が発表された想定実演。ガイド役は生徒、津波警報発令後は生徒が避難誘導役を務めた。

加藤ハナさん18は「2次避難までの避難経路は急な山道や足場の悪い所がある。大丈夫かな、なだいなだをかけ、観光客に安心感を与えるガイドを心がけた」と話した。

【4 松島高校の取り組み紹介③】

松島高校観光科の取り組みが河北新報社様に掲載されました。

(出典 河北新報社2021年11月7日(日) 朝刊)

各放送局等メディア様が取り組みをニュースに取り上げていただきました。



宮城県内の観光を一緒に盛り上げましょう



オンラインで松島名所案内する松島高観光科

松島の名所 リモート案内

東京や青森など県内外をパソコンなどの画面越しに16人が参加。生徒たちは、タブレット端末やカメラで中継しながら五大堂、瑞巖寺といった名所を1時間半かけて紹介した。

円通院では仙台藩伊達政宗の孫光宗を祭る「三尊殿」や経蔵の景色を映す鏡池由来と歴史を説明。町出身の青木存義が作詞した童謡「どんぐりころころ」の唄も紹介し、「3番を歌ってみたい」。

生徒たちはツアーに備え、町の観光施策や松島湾の灌漑再生生活動を学習。観光事業を手掛けるインテラクト（仙台市）の西谷篤任社長から助言を受け、一番に生かした。参加者の募集には宮交観光サービス（仙台市）が協力した。

ガイドを担当した山内海聖さん18は「客の表情を見られないのが難しく、質問を受け掛けるのがコミュニケーションの仕方を工夫した。コロナが収束した方がいいと思うてもらえたらしい」と話した。

日本三景松島をオンラインで案内するツアーが6日、松島町の松島海岸地区であった。松島高観光科の学習の一環で、3年生約80人がガイドや解説を担当。新型コロナウイルス禍で退出を控えている人に、リモート観光を楽しんでもらおうと企画した。